

⑤8 国道401号 博士峠工区

受賞機関 福島県 会津若松建設事務所

キーワード トンネルの施工合理化、救急医療施設へのアクセス向上、地域の活性化

全建賞審査委員会の評価ポイント

国道401号博士峠のバイパス整備。幅員狭小等による交通の支障や冬期通行止めとなる現道の課題解決のため、トンネル整備を両側からの掘削や並行施工の実施等により合理化した点や、舗装のICT施工による生産性向上などの工夫により施工を行った点が評価された。

1. はじめに

国道401号は、福島県会津若松市を起点とし群馬県沼田市に至る延長約220kmの幹線道路で、古くから会津若松市と奥会津とを結ぶ交通ルートとして利用されており、沿線住民の生活を支える非常に重要な路線である。

このうち、会津美里町と昭和村との町村境に位置した旧道の博士峠は、幅員狭小、急カーブ、急勾配により車両のすれ違いが困難な場所が多かったことに加え、冬期間においては雪崩等の危険性により通行止めとなるため、道路交通上の大きな障害となっていた。特に昭和村においては、都市機能が集積する会津若松市へ繋がる唯一の幹線道路であり、道路改良による救急医療施設へのアクセス向上と産業の更なる振興等が求められていた。

なお、本工区は、東日本大震災からの復興を強力に支援する道路として、「福島県総合計画（ふくしま新生プラン）」及び「福島県復興計画（第3次）」の「復興まちづくり・交流ネットワーク基盤強化プロジェクト」に位置づけられた。

2. 事業の概要

全体計画：L=7.5km

W=6.0 (8.0) m

橋梁N= 6 橋 (L=206.3m)

博士トンネルL=4,503m

事業着手：平成26年度

供用開始：令和 5 年度

事業効果：冬期通行止めの解消

救急医療施設へのアクセス向上

(通常期：9分短縮 冬期：39分短縮)

3. 事業の成果

今回の開通により、災害に強く安全で円滑な交通確保及び沿線住民の利便性や救急医療施設等へのアクセス向上が図られた。

交通量についても、1日平均658台と開通前の交通量の平均約400台を上回る結果となった。また、昭和村の交流・観光拠点施設「喰丸小」の観光施設では、9月

11日から12月31日の入場者数は11,449人と昨年同時期比で3,778人増加し、道の駅「からむし織の里しょうわ」の入館者数は26,816人と昨年同時期比で8,049人増加し、観光への波及効果も見られた。



開通式



供用後の利用状況

4. おわりに

国道401号博士峠工区は、平成26年度の事業着手から地元の方々を始め多くの皆様から、御理解と御協力をいただき、令和5年9月10日に開通することができました。

当該工区の開通により、冬期通行止めの解消と救急医療施設へのアクセス向上等に大きく寄与するとともに、国道401号沿線市町村が奥会津地域の更なる交流の活性化と地域振興についても大きな期待を寄せている。

最後に、当事業に御協力いただいた地権者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、関係各社の皆様に心より感謝申し上げます。

賛助会員 会津土建(株)、鹿島建設(株)、戸田建設(株)、(株)フジタ、滝谷建設工業(株)、矢田工業(株)、オリエンタル白石(株)、日本工営(株)、国土防災技術(株)、いであ(株)